

頸城区 43号 2022・11 地域協議会だより

発行 頸城区地域協議会
編集 頸城区地域協議会事務局
(頸城区総合事務所
総務・地域振興グループ)
☎ 530-2311 FAX 530-2001

令和5年度(仮称)地域独自の予算の提案に向け 各団体と意見交換を実施

市では本年度で地域活動支援事業を終了し、令和5年度から(仮称)地域独自の予算による地域活性化を図っていく方針です。地域協議会ではこれまでの自主的審議事項の検討を踏まえ、令和5年度予算に向け4つの取組を提案し、7月31日(日)希望館で地域の活動団体の皆さんと意見交換を行いました。



「頸城への想いをかたちに」

地域活動支援事業終了後、次のステップへと向かうべく頸城区内の活動団体の熱い想いと現状や課題などについてグループワークを行いました。

グループは4つ(内容は3ページ)

- ① 大池・小池を活かした観光
- ② くびきのお宝活用
- ③ 季節の花が咲く通学路、ポケットパーク
- ④ 外国人の交流とファーマーズマーケット

参加者は4つのカテゴリーに関係する団体の活動家や関係者で、日頃から頸城区を元気にしたいと活動されている皆さんです。

限られた時間でしたが現状の活動と今後の展望や課題をどうリンクさせて事業に結びつけるか、ポストイットには頸城が抱える今と未来が詰まっています。一つ一つのキーワードにも数えきれない苦労や想いがあり、そのことについて話す熱量に地域愛を感じずにはられません。

短い時間の中でまとめるのはとても不可能でしたが、多くのヒントを得たと考えています。改めて、頸城の人・もの・金についての見聞が深まった一日になりました。

今後も地域協議会のこのような活動に理解を求め、子供たちや若い世代の意見や想いを聞ける機会をつくっていききたいと思いました。

地域協議会委員 滝本 篤透

〔仮称〕地域独自の予算とは

市では、それぞれの地域の課題を解決し、活力の向上を図るために、全市的な取組に加え、地域の実情にあった取組を更に実現していくことが必要と考え、「(仮称)地域独自の予算」をつくることとしました。

「地域独自の予算」で大切にしたいこと

○ 地域住民の皆さんが、住み続けていく上で地域に誇りや愛着を持ち、生活の満足感や質を高めていけるようにしたい。

○ 地域と市が一緒になって、地域資源の活用や地域住民の皆さんの連携が深まるようにしたい。

○ 地域の団体や地域協議会が取組を提案できるとともに、地域住民の皆さんに身近な機関である総合事務所やまちづくりセンターが、木田庁舎の各課等と同じように予算を要求できるようにしたい。

令和2年度から自主的審議事項を検証し4つの事業(案)を提案しています。

これまでの取り組み

令和2、3年度

・地域の団体等との意見交換



・自主的審議事項 部会での検討

・公民館運営委員との意見交換

令和4年度

将来像を考える

※ なりたい頸城区

① 特長を考える 令和4年5月17日(水)
伸ばしたいこと、やめたいこと、その他
→1回目 ワークショップ

② 将来像を考える 令和4年6月15日(水)
・自分がどんな頸城区で生きていきたいか
・将来、子供たちにどんな頸城区を残したいか
→2回目 ワークショップ

③ 令和5年度予算要求に向けた検討
令和4年7月20日(水)
→4つの事業を提案

令和5年度予算要求に向けた検討

頸城区の未来に向けた事業検討

地域協議会 自主的審議事項の検討

なりたい頸城区、頸城区の将来像

「住みたい、訪れたい」まち頸城区

事業案

大池・小池

レールパーク館

花いっぱい

外国人

受け皿となる実施団体があるか

令和5年度事業の検討

(必要性の構築、団体との協議、経費の算出、関係課との協議)

予算要求(9月末まで)

1

① 大池・小池を活かした観光

実施団体
 頸城観光協会、ユートピアくびきスポーツクラブ、くびき里やま学校、産金城跡保存会、明治鑑興会
 協力団体
 土地改良区、サクラメディカル、JA、近接町内会、保育園、小中学校

現状

- ・大池いこいの森キャンプで、アウトドアスポーツの体験の機会がない
- ・カヤック、ヨットなどがあるが、観光で活かされていない
- ・遊歩道の活用ができていない

《想定される事業》

- ・カヤック(カヌー)体験教室
- ・カヤック(カヌー)体験指導者育成講座
- ・キャンプ、アウトドア教室
- ・ノルディックウォーキング教室
- ・野草、野鳥観察会
- ・きのこの駒打ち体験
- ・のろし上げ、ルート整備



② くびきのお宝(レールパーク、館)活用

実施団体
 頸城観光協会、くびきのお宝のこす会、くびき来夢ネット、上越名家ネットワーク(酒本邸・白田邸)、ワンダーランド
 協力団体
 JA、保育園、小中学校

現状

- ・各団体の会員の高齢化・団体同士の連携が不十分
- ・レールパークや館までの公共交通が不十分
- ・近くの飲食店が少なくなっている



《想定される事業》

- ・直江津D51レールパーク間のシャトルバスの運行
- ・レールパークの維持、整備
- ・キッチンカー、お土産店
- ・お宝間の連携事業
- ・施設維持のイベント

情報発信 子どもが楽しむ場 の創出

③ 季節の花が咲く通学路、ポケットパーク

実施団体
 ユートピアくびき鑑興財団、くびき鑑興会、くびき花の会、青少年育成会議、くびき来夢ネット
 協力団体
 老人クラブ連合会、各町内会、保育園、小中学校、福祉施設

現状

- ・過去にアヤメを植えたが管理ができていないところは絶えてきている
- ・アヤメなどをしっかり管理して花ロードとなっているところがある

《想定される事業》

- ・「花守りの道」通学路を中心に花を楽しむ環境整備
- ・公園、公民館等への植栽
- ・四季の花が咲くポケットパークの整備
- ・花の苗 里親制度と花の苗配布
- ・頸城線 植樹帯の貸し出し



④ 外国人の交流とファーマーズマーケット

実施団体
 くびき鑑興会、南川鑑興会、くびき文化協会、くびき来夢ネット
 協力団体
 町内会、保育園、小中学校、企業、商工会、JA

現状

- ・外国人が急増
- ・買い物ができる場所が少ない



《想定される事業》

- ・外国と日本の行事で交流
- ・子供を対象にした交流イベント
- ・和食と外国料理教室
- ・ファーマーズマーケット
- ・外国人と一緒に防災訓練

事業を提案して

委員2人から意見・感想を寄せいただきました

地域活性化とは？

地域活性化とは地域の資源を活用し、生きいきとした創造的な生活を営んでいる状態、またはそうした目標に向かって努力している状態だそうです。

これが新しい制度「(仮称)地域独自の予算」の肝だと思っています。今あるモノで活気や賑わいを作り魅力ある頸城にすることで人口減少に歯止めをかけたい。

そうした思いでいくつかの団体が活動していますが、いずれも高齢化と人員不足。どうぞ区内のイベントや町内会行事などに参加し、未来の頸城のために先ず一歩踏み出してみたいかがでしょうか。

地域協議会委員 船木 貴幸

(仮称) 地域独自の予算への事業提案

(仮称) 地域独自の予算による地域活性化が令和5年度よりスタートします。この方針を受け地域協議会では、区の将来像を「住みたい、訪れたいまち頸城区」に定めました。

この将来像を実現するため大池・小池、レールパーク&館、花いっぱい、外国人との交流の4つの事業案を示し活動団体と意見交換を行い、事業を提案しました。

今後は各活動団体がいかに協力し事業を展開できるか、また運営に協力する人、参加する人、持ち場立場で皆さんから積極的に関わっていただき頸城区がより活性化できることを願っています。

地域協議会委員 西巻 肇

地域協議会のうごき

<協議会開催の経過>

- 4月20日 第1回地域協議会
 - ・地域活動支援事業について（協議）
 - ・自主的審議事項について（協議）
- 5月11日 第2回地域協議会
 - ・地域活動支援事業の審査について（協議）
 - ・地域自治推進プロジェクト及び令和4年度の地域協議会の取組等について（報告）
- 5月17日 第3回地域協議会
 - ・地域活動支援事業の採択について（協議）
 - ・自主的審議事項について（協議）



- 6月15日 第4回地域協議会
 - ・自主的審議事項について（協議）
- 7月20日 第5回地域協議会
 - ・自主的審議事項について（協議）
- 7月31日 頸城区地域協議会と活動団体との意見交換会に向けた説明会
 - ・令和5年度予算要求に向けた作業について
 - ・自主的審議の取り組みについて
 - ・意見交換
- 8月24日 第6回地域協議会
 - ・新市建設計画の変更について（諮問）
 - ・自主的審議事項について（協議）
- 9月28日 第7回地域協議会
 - ・自主的審議事項((仮称)地域独自の予算)について（協議）
 - ・地域活性化の方向性について（協議）
 - ・「新市建設計画の変更について」の諮問に対する答申について（報告）

令和4年度 地域活動支援事業採択結果一覧(受付順)

単位:千円

No	事業の名称	団体の名称	補助
1	雁金城跡及びその周辺の史跡の保存、整備とPR併せ会員の知識の向上事業	雁金城跡保存会	1,444
2	絵本「頸城鉄道物語 コッペルじいさんのひとりごと」普及事業	読み聞かせサークル ワンダーランド	280
3	くびき野レールパーク公開及び枕木交換工事事業	NPO法人くびきのお宝のこす会	1,040
4	坂口記念館を拠点とした「くびきの地力」活性化推進事業	特定非営利活動法人 くびき来夢ネット	596
5	「大池ネーチャーミーティング」開催事業	特定非営利活動法人 頸城区観光協会	687
6	「くびきの収穫祭」開催事業	特定非営利活動法人 頸城区観光協会	1,008
7	頸城区のまちづくり情報発信力推進事業	特定非営利活動法人 くびき振興会	2,000
計			7,055

詳しくは、以下をご覧ください。
また、事業一覧をご希望の方は、
頸城区総合事務所 総務・地域
振興グループまで、お越しく
ださい。



地域活動支援事業
市のホームページ

<https://www.city.joetsu.niigata.jp/soshiki/jichi-chiiki/katudou-shien.html>



編集後記

令和4年度で地域活動支援事業が終了し、それに代わり地域の実情にあった取組を実現していく(仮称)地域独自の予算となる見込みだ。地域住民の声、要望を反映させ地域の団体や地域協議会が取組を提案でき、それを総合事務所が予算要求するよう進められている。その地域の取組を提案する中心となる組織が地域協議会である。

地域協議会は、今までも地域へ出かけて、意見や要望を吸い上げ、地域活動支援事業の採択という形で取組が行われてきたが、新しい制度では、より地域との連携と関係が求められることになる。この事業では単なる設備の設置、機械、備品の購入などは対象としない。地域の住民や団体と地域協議会は、地域資源の見直しと、掘り起こし、そしてその有効活用に努めなければならない。

(仮称)地域独自の予算への提案では、今まで地域活動支援事業に関わった活動団体とも意見交換を行った。また、区の活性化を図るために区独自の将来像を検討し、区のある方の一つの方向として「住みたい、訪れたいまち頸城区」という将来像を示した。

この将来像に向かって、区民、団体が提案する事業を地域協議会で取りまとめ、総合事務所が肉付けをして予算要求することになる。

この予算が決まれば、将来像の実現に向け、地域協議会を先頭に、区民の継続した努力が求められることになる。

(地域協議会委員 望月 博)